

栃木県眼科医会理事会だより(平成21年度第4回)

日時：平成21年11月18日(水) 午後7時より

場所：宇都宮市医師会館

出席：宮下会長、原(裕)、旭副会長、木村、大久保(彰)、大野、吉沢(徹)、城山、苗加、福島、
落合(憲)、上田、牧野、松島(博)、井岡、斉藤(春)、高橋、斉藤(哲)、堤理事、松島
(雄)監事、稲葉(光)、妹尾顧問 計22名

欠席：小幡、大沼理事、鈴木監事、早津、柏瀬、斉藤(武)、田口、茨木、佐藤顧問 計9名

[会長挨拶]

お忙しい所ありがとうございます。今年最後の理事会になります。相談したい事や決めたい事がいろいろございますので、よろしく申し上げます。

[総務]

報告：1. 大野眼科クリニック 大野研一先生の父上・住男様(85歳)ご逝去(9月17日(火))
会員にFAX連絡

2. たかはし眼科 高橋雄二先生の父上・恒雄様(77歳)ご逝去(11月2日(月))会員に
FAX連絡

3. 会員の異動

勤務先住所変更：A 鈴木 光(小山市 鈴木眼科医院)

協議：1. 入会希望者について(転入、開業を含む)
B 反町 一恵(獨協医大) 千葉県より
全員一致で受け入れ承認とする。

[経理]

報告：1. 目の愛護デー記念行事収支報告

収入：栃木県アイバンクよりお祝い金 20,000円

支出：講師御礼	50,000円	昼食代	24,000円	反省会	75,500円
いずみ工芸	8,400円	栃木放送	60,000円	振り込み手数料	105円
				合計	218,005円

差額の198,005円を医事対策費から補助

2. 第58回栃木県眼科集談会収支報告

収入：82名分会費 82,000円

支出：会場費 7,800円 講師御礼 100,000円

差額の25,800円を一般会計から補助

3. 平成22年度会費免除対象者について

会員期間が通算10年以上で80歳をこえた会員が対象。田口太郎先生、矢尾板栄

子先生が新たに該当し免除の申請済み。

[学術]

報告： 1 . 第17回栃木眼科セミナー報告（自治医大、興和創薬共催、当会后援、10月2日（金）宇都宮グランドホテル）

特別講演：

講演 1：「C L 関連感染性角膜炎」 愛媛大学医学部 宇野敏彦臨床教授

講演 2：「大人の斜視手術について」 自治医科大学 牧野伸二講師

盛会のうちに終了。

2 . 第58回栃木県眼科医会集談会開催の件（11月6日（金）宇都宮医師会館）

特別講演：「眼内レンズ挿入眼の臨床評価」獨協医大 永田万由美先生

82名が参加、盛会のうちに終了。

3 . 栃木県小児眼科講習会について（11月29日（日）千寿、参天製薬と共催13:00～16:10 宇都宮グランドホテル）

現時点で医師46名、コメディカル24名が参加予定。講習会としては回数の制限もあり、今年限定になる可能性が高い。終了後、続けて栃眼医忘年会を開催する予定。

協議： 1 . 第3回栃木県内科眼科関連疾患懇談会の件（11月26日（木）興和新薬と共催18:45～20:30 宇都宮グランドホテル）

テーマ：網膜静脈閉塞症

講演 1：「2型糖尿病患者の集約的治療-QOLの維持と寿命の確保のためには-」

獨協医大越谷病院 内分泌代謝・血液・神経内科 麻生好正教授

講演 2：「網膜静脈閉塞症の診断と治療」

自治医大付属病院 糖尿病センター眼科

佐藤幸裕教授

2 . 第42回栃木県眼科医会研究会の件（科研製薬共催、1月15日（金）宇都宮グランドホテル）

講師として日本医大眼科の志和利彦教授、坂西眼科医院の坂西良彦先生を予定。

3 . 第20回下野眼科談話会の件

3月19日（金）小山グランドホテルで開催予定（萬有製薬共催）。特別講演：「新しい眼内レンズについて」慶応大学医学部 根岸一乃准教授

4 . 第59回栃木県眼科集談会の件

現在平成22年4月11日（日）を予定している。

[医療安全対策及び福祉]

報告： 1 . 平成20年度医事紛争調査の回答の件

斉藤（春）理事が回答、平成20年度は0件であった。

2. 第71回栃眼医ゴルフコンペ開催報告（11月3日(火)ハウライカントリー）
医師7名が参加。優勝は柏瀬宗弘先生。準優勝は大久保彰先生。次回は平成22年4月に唐沢ゴルフクラブで開催予定。
3. 栃眼医忘年会開催の件（11月29日(日) 栃木県小児眼科講習会終了後 宇都宮グランドホテル）
講習会終了後、16:30より開催予定。
4. 平成22年度眼科コメディカル講習会日程について
1月10日～4月11日まで計5回の講習を例年どおり帝京大医学部臨床大講堂で開催、コメディカル試験は5月15日(土)の予定。受講者の他にテキストを希望する方は斉藤(春)理事まで連絡のこと。
5. 「全日本眼科医ゴルフ選手権大会 10周年記念誌」日眼医より送付

[保険]

- 報告：1. 日眼医より「薬剤の適応外使用の新規事例について」送付（9月25日(火)）
9月15日に厚労省保険局医療課から「第6次審査情報提供事例」として、眼科関連の5事例を含む33事例が公表された。内容は日本の眼科第八十巻第十号に掲載中。
2. 日眼医より依頼の「ブロック別厚生局への変更の影響について」返答報告（10月14日(水)）
井岡理事が回答。本県では今のところ目立った影響はない模様。
 3. 平成21年度日眼医各支部健保担当理事連絡協議会議出席報告（10月25日 東京グランドホテル）
井岡理事が出席。今年は例年と異なり日本医師会や厚労省からの来賓の出席がなく、政権交代の影響かと思われた。日眼医本部見解としては、平成21年度全国審査委員連絡協議会での解釈が一部変更され、眼処置が取れる医療行為として、片眼帯、巻軸帯を必要とする処置、蒸気電法、熱気電法、イオントフォレーゼ及び麻薬加算、マイボーム腺圧出、偽膜除去や結膜下嚢腫穿刺、さらに無水晶体眼のコンタクトレンズ処置が算定できる事となった(ただし、内容の判る注記が必要)。また、今年から本会に続き、各支部健保担当理事とブロック選出社会保険委員会委員により、ブロック別社会保険協議会が開かれる事となり、ブロック別厚生局への変更の影響について、集団的個別指導やC L 検査料に関連する個別指導等について検討が行なわれた。
 4. 平成21年度第2回栃木県社保国保審査委員連絡協議会開催報告(10月27日(火)宇都宮医師会館)
旭、城山、千葉社保審査委員、鈴木国保審査委員、井岡、吉沢健保担当理事が出席。10月25日の健保担当理事連絡協議会議の記録をもとに、本県の審査状況についての検討を行なった。本県では、20才以下の屈折病名のみ初診患者に対する眼圧測定は特別の事情がなければ認められないので注意されたい。

- 5 . 健保研究会開催の件 (11月21日(金)宇都宮市医師会館、栃木県眼科集談会と共催予定)
保険審査委員全員と健保担当理事が出席。会員からの質問はなかったが、最近の審査状況についての報告を行なった。
- 6 . 「平成21年度各支部健保担当理事連絡会の支部の実情事前調査」を日眼医に回答
井岡理事が回答。
- 7 . 「平成21年度 各支部健保担当理事連絡会各支部提出議題」に対する最終本部見解」日眼医より送付 (11月10日(火))
6 とともに「日本の眼科」81巻 1号に掲載予定。
- 8 . 「コンタクトレンズ検査料の患者割合調査」の集計結果半年分 (平成21年 4月～9月) 日眼医より送付 (11月10日(火))
県内の4施設の会員に協力を依頼し毎月報告している。平均的には約12%程度。
- 9 . 「薬価基準の追補収載について」日眼医より送付 (11月13日(金))
イソプロピルウノプロストン点眼液0.12%(大洋薬品) 緑内障・高眼圧治療剤
イソプロピルウノプロストンPF点眼液0.12%(日本点眼) 緑内障・高眼圧治療剤
カルテオロール塩酸塩点眼液1%(わかもと) 緑内障・高眼圧治療剤
カルテオロール塩酸塩点眼液2%(わかもと) 緑内障・高眼圧治療剤
トラニラスト点眼液0.5%(沢井製薬) アレルギー性結膜炎治療剤
トラニラスト点眼液0.5%「TS」(テイカ製薬) アレルギー性結膜炎治療剤
レボカバチン点眼液0.025%(イセイ) アレルギー性結膜炎治療剤
その他、バンコマイシン眼軟膏 1%(東亜薬品)が10月16日に新薬承認されており、11月～12月に薬価が決定された後追補収載される見込み。

[広報]

報告：1 . 栃眼医ホームページ作成の経過報告

現在パイロット版をネットに上げて動作確認中。今後URL、パスワード等を会員に向けて送付する予定。

[学校保健]

報告：1 . 弱視眼鏡の公費補助について

苗加理事が調査報告。本県では、国保・社保共通で助成対象は9歳未満となっており、治療途中で規定年齢を越えた場合は助成は打ち切りとなる。助成金額は支給上限額37,801円(消費税込み)の7割もしくは8割(負担割合による)であり、また再給付の条件は5歳未満で前回給付より1年以上、5歳以上では2年以上経過していることが必要である。

支給額計算例

* 2割負担の場合

20,000円の治療用眼鏡を購入した場合は... $20,000円 \times 0.8 = 16,000円$ の支給

50,000円の治療用眼鏡を購入した場合は... $37,801円 \times 0.8 = 30,240円$ の支給

*3割負担の場合

20,000円の治療用眼鏡を購入した場合は... $20,000円 \times 0.7 = 14,000円$ の支給

50,000円の治療用眼鏡を購入した場合は... $37,801円 \times 0.7 = 26,460円$ の支給

2. 栃木県医師会第3回学校保健部会理事会開催報告(10月8日(木)ニューイタヤ) 苗加理事が出席。主に新型インフルエンザへの対応が討議された。また来年度も学校医研修会を2回開催する予定であるとの事。

- 協議：1. 日眼医より送付の色覚バリアフリーの啓発リーフレットの配布について
日本学校保健会が作成し、約5,000部が送付された。内容は <http://www.gakkohoken.jp/book/pdf/16iro.pdf> で閲覧できる。地区の学校保健活動で使用を希望する場合は事務局まで連絡を。
2. ジョンソン&ジョンソンより送付の「眼の健康促進活動」としての学校あてのコンタクトレンズに関するパンフレットについて
コンタクトレンズの基本知識を得るにはいい内容であるが、企業名が記載されており宣伝活動になるかどうか微妙なところである。他県の状況等も確認し、使用について更に検討を加える事とした。

[公衆衛生]

- 報告：1. 「目の愛護デー」記念行事開催報告(10月4日(日)宇都宮市健康センター(ララスクエアビル9階))
福島理事が報告。
13:30~14:30 目の健康講座：
「意外に多い眼瞼下垂 受診のタイミングと治療法」
高橋佳二講師(獨協医大)
14:30~16:30 眼科無料相談会・無料眼圧測定
相談員：加藤健先生、西村僚先生、岩井紳先生、大沼修先生、
牧野伸二先生、他眼科医会担当理事
健康講座に約100名、眼科無料相談会には64名の参加者があり、盛会のうちに終了した。
2. JRPSとちぎ 第20回医療講座、生活相談会講師派遣について(10月18日(日)鹿沼市民情報センター)
今年は枝美奈子先生(鹿沼)が担当。JRPSとちぎの平塚支部長から礼状を頂いている。

- 協議：1. 当会主催の平成22年度「目の愛護デー」について
今年の催しは例年までと異なり、半日のスケジュールであったが、行事を集約し、人手も集中させる事で効率的な運用が出来、参加者にとっても便利な会となった。よって来年の会も同様の形式で行ないたい。10月3日(日)宇都宮健診センターで予定。

2. インフルエンザワクチン接種と眼科医の扱いについて

現在ワクチン接種は内科、小児科など、罹患患者の診療に直接あたる施設を優先的に行なわれているが、眼科でも発熱前に結膜炎をおこし来院するなど、感染の危険が懸念される。各施設で積極的に接種を希望し行なっていただきたい。同時に地区のインフルエンザ予防対策に対し、眼科医であっても積極的に協力する姿勢を示す事も必要と思われる。(現在本県では医療従事者への優先接種を終え、12月4日から妊婦、基礎疾患を有する者、1歳から小学校低学年の幼児・児童を対象に接種を進めている)

[医療対策]

- 報告：1. 本年度栃木県CL販売管理者継続研修会(12月6日(日)とちぎ健康の森)の準備状況
現在応募者は92名(県外5名)。講師は栃木県保健福祉部薬務課の松下先生と、宇津見義一先生(宇津見眼科医院、北里大学眼科非常勤講師、慶応大学非常勤講師)。
- 協議：1. 来年度CL販売管理者継続研修会開催の件
平成22年12月5日(日)に開催予定とする。

[勤務医]

- 報告：1. 第10回全国勤務医連絡協議会出席報告(11月8日(日)東京グランドホテル)
上田理事が出席。今回は外部から招いた講師ではなく、勤務医部の山田昌和常任理事(東京医療センター)により「眼科勤務医の現在位置、これから」について話があった。
眼科勤務医の平均年齢は37.5歳で、他科と比べ最も若く、40代以降は開業志向が強い傾向があるとの事。他の話題として収入格差、眼科研修施設の減少、当直問題等。
- 協議：1. 第15回栃木県眼科手術談話会の日程について
平成22年5月21日(金)宇都宮医師会館で開催予定。

[その他]

- 報告：1. 栃木県医師会より総合医学会の開催形式についてアンケート送付の件
形式は特別講演、テーマについては「医療政策について」を希望とする。
2. 来年度以降のCL販売管理者継続研修会講師について
今後引き続き検討する。
3. 眼科一次救急の問題点について
当番日のバックアップ等について検討した。

次回理事会は1月20日(水)に開催する。

以上
(吉沢 徹 記)